

## 東京都認可保育園

調査対象：東京都認可保育園(配布177園 回収88園 回収率49.7%)

調査期間：2014年10-11月

調査方法：東京都23区の認可保育園から各区10園を選定し、各園に1部ずつ郵送にて配布・回収

調査内容：①回答者属性,②園の概要,③一時預かり保育について,

④幼保連携について,⑤幼保一体化について

### 問1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1)このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。

	人数(人)	割合(%)
園長	77	87.5
副園長	7	8.0
主任	2	2.3
その他	2	2.3

(2)保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

保育園...平均28.4年 幼稚園...平均1.43年

	保育園(人)	幼稚園(人)
0年	2	73
1~9年	8	11
10~19年	6	1
20~29年	16	1
30~39年	49	2
40年以上	5	0

### 問2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1)園が設置されている地域を教えてください。

市区町村	園数(園)	割合(%)
中央区	2	2.3
港区	9	10.2
新宿区	8	9.1
墨田区	22	25.0
大田区	1	1.1
世田谷区	8	9.1
渋谷区	1	1.1
中野区	4	4.5
杉並区	4	4.5
豊島区	5	5.7
北区	5	5.7
板橋区	8	9.1
練馬区	4	4.5
足立区	7	8.0

(2)園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
公立保育所	55	62.5
私立保育所	25	28.4
その他	8	9.1

(3)創立年数を教えてください。

平均34.9年

(4)現在の園児数について教えてください。

年齢	平均人数(人)	平均クラス数(クラス)
0歳児	9.1	0.9
1歳児	15.7	1.1
2歳児	18.0	1.1
3歳児	19.9	1.1
4歳児	20.5	1.1
5歳児	20.3	1.2

問3. 貴園の一時預かり保育の現状についてお聞きします。

(1)貴園では一時預かり保育を実施していますか。

	園数(園)	割合(%)
実施している	52	59.1
実施していない	34	38.6
無回答	2	2.3

(2)どのような形態での一時預かり保育を実施していますか。

※一時預かり保育を実施している園（52園）のみ

i)一時預かり保育可能な対象の範囲を教えてください。（複数回答可）

	園数(園)	割合(%)
市・区内に住民登録がある就学前児	46	88.5
市・区内に住民登録のない就学前児	8	15.4
近隣の幼稚園に在園している就学園児	12	23.1
その他	6	11.5

ii)一時預かり保育の対象年齢について教えてください。（複数回答可）

	園数(園)	割合(%)
1歳未満	24	46.2
満1歳	34	65.3
満2歳	32	61.5
満3歳	34	65.3
満4歳以上	33	63.5
その他	20	38.5

iii)一時預かり保育の形態について教えてください。（複数回答可）

	園数(園)	割合(%)
定期利用	4	7.7
臨時申込(非定期利用)	23	44.2
緊急一時預かり	30	57.7
その他	9	61.0

iv)一時預かり保育の実施日について教えてください。（複数回答可）

	園数(園)	割合(%)
月～金	24	46.2

月～土	25	48.1
月～日(年末年始・祝日を含む)	1	1.9
春・夏・冬の長期休業期間	5	9.6
その他	2	38.5

v)一時預かり保育の平均利用人数と実施時間について教えてください。(実施時間は省略)

平均利用人数の平均(人)	
1歳未満	1.9
満1歳	4.3
満2歳	4.2
満3歳	0.9
4歳以降	1.4

vi)一時預かり保育の実施場所について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の活動スペースと同じ場所	40	76.9
保育所内の一時預かり保育専用のスペース	10	19.2

vii)一時預かり保育の担当者について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の職員	43	82.7
一時預かり保育専門の職員	8	15.4

viii)一時預かり保育の保育内容等について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
担当者がその日毎に保育内容を決める	19	26.5
一時預かり保育独自のカリキュラムがある	2	38.5
園のカリキュラムと連続している	28	53.8

(3)一時預かり保育について、今後の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
取り組む	40	45.5
取り組まない	12	13.6

わからない	9	10.2
その他	9	10.2

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に番号を記入してください。

第1理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
行政の方針	11	2	5	5	23
子育て支援が充実する	18	0	0	0	18
地域社会の要請が強い	7	0	0	0	7
安全性の基準が保障できない	0	2	0	0	2
保育者の負担が大きい	0	0	1	0	2
今のままで十分	0	1	0	0	1
カリキュラムの編成ができない	0	1	0	0	1
その他	0	4	1	1	4

第2理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
地域社会の要請が強い	21	0	0	0	21
子育て支援が充実する	8	0	0	1	9
行政の方針	7	0	0	0	7
保育者の負担が大きい	0	3	2	2	7
経費の面で難しい	0	0	0	2	2
今のままで十分	0	1	0	0	1
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	0	1
その他	0	1	1	0	2

第3理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
地域社会の要請が強い	6	1	0	1	8
子育て支援が充実する	6	0	0	0	6

行政の方針	6	0	0	0	6
施設が利用できる	4	0	0	0	4
今のままで十分	2	0	1	0	3
カリキュラムの編成が難しい	0	1	1	1	3
経費の面で難しい	0	2	0	0	2
安全性の基準が保障できない	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	1	2

#### 問4. 貴園の幼保連携の現状についてお聞きします。

(1) 幼稚園との連携はありますか。

	園数(園)	割合(%)
連携がある	28	31.8
連携がない	57	64.8
無回答	3	3.4

(2) (1)の理由をお書きください。

##### 連携がある園

- ・地域をブロック割にした幼保小中の交流がある。
- ・職員の幼稚園研修
- ・区内の幼保小中連携会議に参加している（年4回）
- ・就学前の子ども達に交流は必要と思われる。
- ・中野区は保育園・幼稚園・小学校連絡協議会が30年実施されている。また学校によっては年3回連絡会を開いている所もあり、そこでの繋がりが主、逆にそれ以外の交流はない。
- ・就学に向け、同じ地域の子どもが顔見知りとなり、安心して学校へ入学ができる。幼稚園の保育・教育を保育園職員が理解し、保育の質の向上へつなげ、幼稚園も保育園の実際を理解して頂く。
- ・幼保小連携のブロック内での交流（校長、園長、年長組、担任出席の会議、公開保育など）
- ・杉並区の施策として幼保一体型の施設となった。
- ・小学校とは連携している。幼稚園とは職員のみ
- ・就学前教育推進事業のメンバーとして連携している。幼保小中一貫教育事業のメンバーとして連携している。
- ・地域の子ども達が顔見知りになる。就学前の活動としてふさわしい。
- ・保幼小中の連携の会議や講習会で職員との交流がある。
- ・合同行事 5歳児対象
- ・幼保連携連絡会 公開保育
- ・小学校との連携で交流会を実施するときに一緒に参加している
- ・近隣の公立幼稚園主催のサッカー教室に年長児が参加している（月1回）。保育士の国内研修に互いに参加しあっている
- ・当園のある地域では子育て支援連絡会があり、地域の子育ての支援に対する連携を行っている。そこで園長や副園長が顔見知りとなり関係を作りつつある。
- ・園長が評議委員になり、行事での交流をもつ計画がある。
- ・同じ地域の子どもたちが就学前に地域の子どもたちと交流を図ることで安心して学校生活を送ることができる。また地域の課題を共有することができる。

連携がない園

- ・中央区の取り組み不足
- ・同じ地域の子供同士の交流は意義の大きいことだと考えられるから
- ・幼稚園はないが子ども園はある。
- ・他の公立保育が連携しており、公立幼稚園の負担が増えるため
- ・練馬区では2年前から小・幼・保の機関の代表者が集まり協議会を月1回位開いて進めている。施設長間の勉強会（交流）や職員間の講習を25年度26年度も実施
- ・今までやっていなかった。今後はやっていきたい。
- ・港区内にそのようなしくみがないため。
- ・公開保育の案内はあります。
- ・近隣に幼稚園がない。
- ・あまり考えたことない。
- ・近くに幼稚園がない。私立、認定園との交流はある。
- ・近隣に連携のとれる幼稚園がないため
- ・区および地域の中で今まで実施されていない。今後は行政が主体のなりながら連携していく必要を感じる。
- ・近隣の幼稚園は公立小学校併設のため交流する機会がありません。
- ・保幼小の連携としては年に1回協議会が開かれたり、互いの見学をしている。研修で年2回見学させてもらい、研修生も実践記録を作成している。
- ・今年度新園のため
- ・地域に幼稚園がないため
- ・地域的に幼稚園がないため
- ・私立園とは1回交流したことがありますが、継続はしていない。
- ・近隣に幼稚園があまりないこと、活動時間の違いもあり、地域の保育施設との連携はあるが、幼稚園とは行っていない。
- ・近隣の幼稚園がない。
- ・余裕がない。地域子育て家庭との連携の方が重要。
- ・近くに幼稚園がない。保育園は私立を含め7園近隣にある。
- ・今までそのような機会がなかった。

(3)連携をしている園にお聞きします。※連携をしている園（28園）のみ

i)連携をしている園は何園ですか。

	園数(園)	割合(%)
1園	18	64.3
2園	4	14.3
3園	2	7.1
4園以上	4	14.3

ii)連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
歩いて行ける範囲	22	78.6
隣接している	1	3.6
バスや交通機関を利用	3	10.7
その他	2	7.1

iii)連携の頻度について当てはまるものに○または数字をご記入ください。

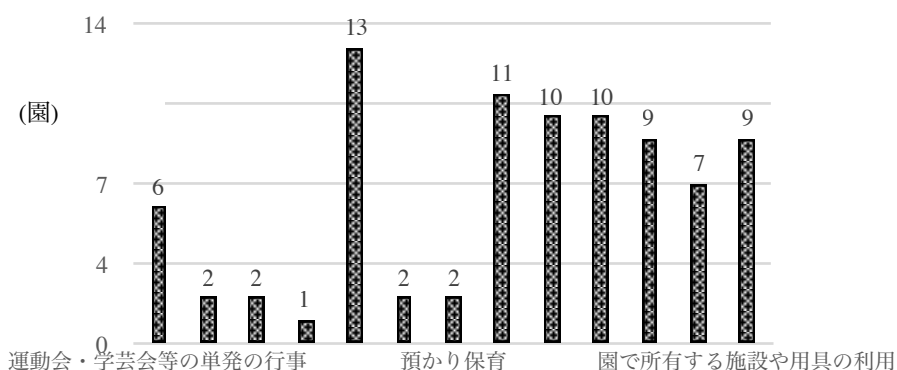
	園数(園)	割合(%)
毎日	1	3.6
月1回	1	3.6
年1回	3	10.7
年2,3回	16	57.1
年4,5回	6	21.4
年6回以上	4	14.3

iv)連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
園全体	2	7.1
学年単位	2	7.1
クラス単位	17	60.7
その他	9	32.1

(4)連携についてお聞きします。

i)連携をしているものに○をつけてください。



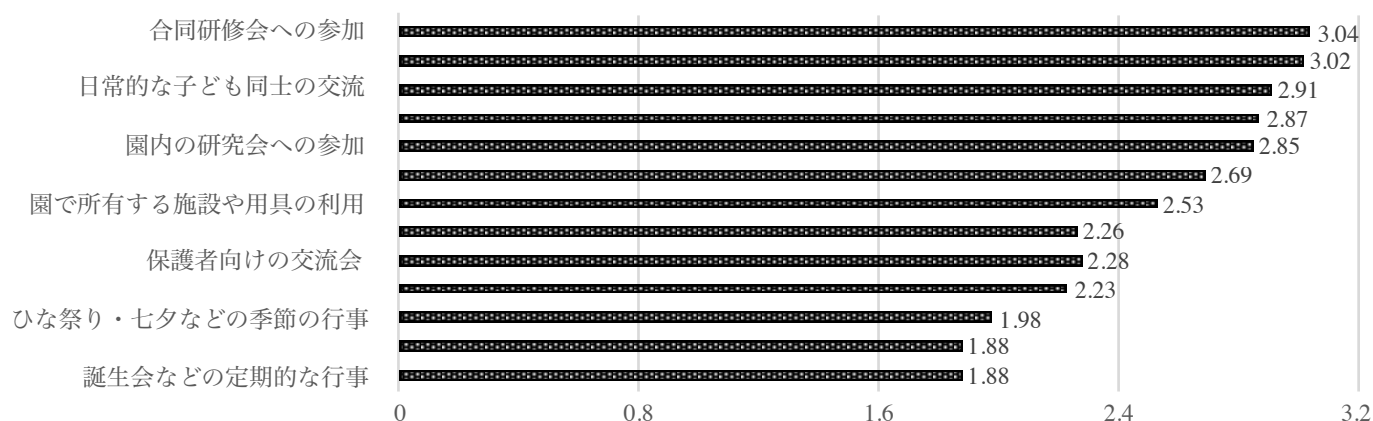
ii)連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園に○をつけてください。...省略

iii)連携をしている・していないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じますか。

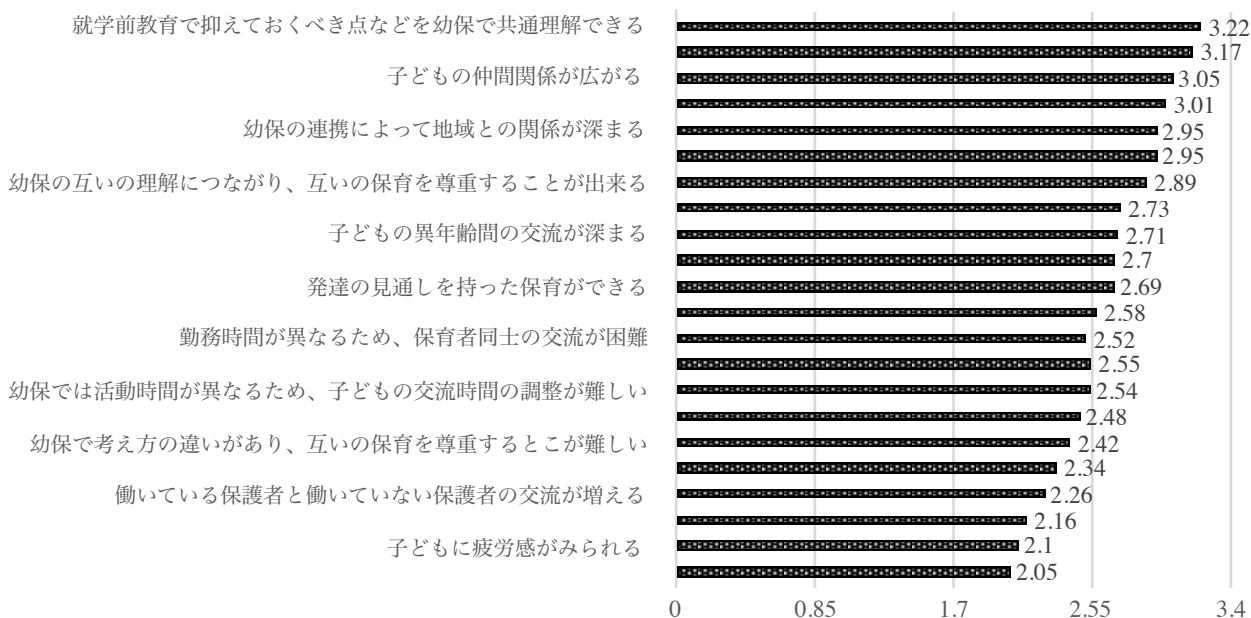
「1：全く必要性を感じない」「2：必要性を感じない」「3：必要性を感じる」「4：とても必要性を感じ



じる」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



(5)保育所・幼稚園との連携について貴園が感じていることについて、「1：全くそう思わない」「2：そう思わない」「3：そう思う」「4：とてもそう思う」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



### 問5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きします。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか。

	園数(園)	割合(%)
一体化したい	0	0.0
既に検討している	11	12.5
検討していきたい	21	23.9
したくない	18	20.5
わからない	32	36.4

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に選んで記号を記入してください。

## 第1理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	10	1	0	14	25
保育・教育の充実	0	8	1	1	11
今のままで十分	0	2	5	2	9
子育て支援が充実する	1	6	0	0	7
子どもの負担が大きい	0	0	2	0	2
経費の面で難しい	0	0	1	1	2
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	1	2
地域社会の要請が強い	0	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	0	1	0	1
低年齢児とのふれ合いができる	0	1	0	0	1
その他	0	2	3	6	9

## 第2理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
保育・教育の充実	5	6	0	0	11
子育て支援が充実する	0	6	0	0	6
保育者の負担が大きい	0	1	4	0	5
施設が利用できる	0	3	0	1	4
行政の方針	0	2	0	1	3
地域社会の要請が強い	2	0	0	1	3
カリキュラムの編成が難しい	0	0	3	1	3
今のままで十分	0	0	1	1	2
子どもの負担が大きい	0	1	0	1	2
経費の面で難しい	0	0	2	0	2
その他	0	0	2	0	2

第3理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	1	5	0	1	7
子育て支援が充実する	2	3	0	1	6
保育者の負担が大きい	2	0	1	1	4

問6. 幼保の連携や一体化に関して、日頃の保育からお考えになっていることをご自由にご記入ください。

- ・ 養護と教育を一体的に行うことが保育園に望まれていることと思う。しかし、養護面重視の保育園が多く驚く。また、保育園の書類の多さについても、課題と思われる。
- ・ 地域の子供たちが、親の就労に関わらず共に育つ、という意味で幼保の連携、一体化は大切であると考えます。しかし、一体化となると、施設面、教員、保育士の身分、給与の違いなど、クリアしなくてはならない課題も多い。認定こども園を増やすとなると、定員のなかで非就労世帯が入りづらい状況になることもあり、幼稚園として存在する必要性を感じている。
- ・ 幼稚園の先生方との交流はほとんどなかったが、幼保小中一貫教育の取り組みの中で交流が生まれ、情報の交換や保育教育について話し合えるようになってきている。それぞれの良さを大切にしながら保育でも教育の充実を考えていきたい。
- ・ サービス重視、長時間化の園が増える中で、連携はできても一体化には課題がまだまだ多くありすぎる。
- ・ スムーズは就学に向けても保幼小の連携は、定期的に行うべきものだと考えます。
- ・ 保育所でも教育的な面は充分できているので、幼稚園の教育的な面を入れなくてもよいと思っている。
- ・ 就労婦人、専業主婦と考えや姿勢が違って当然。ただ子どもたちは平等に一定のレベル環境が与えられるべきと思っております。
- ・ 小学校に入学すると一緒に学び、生活するので連携は必要と思うが現状で幼・保の一体化にはいろいろ問題が出てくる。幼と保別々の組織が大人社会都合でなされているが本来なら統一したものが必要と思う。
- ・ 区内でもカリキュラム作成をして公私立も含め、保幼小の連携を進めている。ただし公立幼稚園と保育園との上層部での思いの違いを感じる。(保育園と幼稚園を一つにすることに、消極的な考え方) 公開保育などで意見交換など、現場での交流が大切だと考える。
- ・ それぞれがそれぞれの機能を果たし、歴史を持って運営されているので本来一体化という考えに反対です。保育が教育ではない風潮も間違っていると考える。保育士資格と幼稚園教諭をもって働いている職員が大半です。
- ・ 区民のニーズにより、幼稚園・保育園、幼保一体化をした園がすべてであるということが重要である。区民が自分自身の子育ての場をどこにするか選択できるようにするため行政は施設を設置をしていくべきである。幼保の連携については新宿区に住むすべての子どもが同等の保育・教育を受けられるようお互いが刺激を受け保育の質を向上させるのが最大の目的である。課題も多く⑥⑤⑧を考えるとどうかと思っている。
- ・ 行政がまず一体化されていないため国としてどのような幼児教育をすすめていきたいのかがはっきりしていないと感じる。幼稚園の機能、保育園の機能を明確にしどの子にも平等に教育を受ける機会が与えられるように願う。
- ・ 幼保小の連携を区全体で行っている。特定のところは保育園か小学校との連携しかない状況。子育て支援として行うのに幼保で分けることはないと思うが、子どもに合わせた保育も幼児期には必要なので、すべて同じにすればよいとは思わない。ただ幼児期の保育指針や教育要領は同様に書かれていても一定の基準がわからないところもあるので保育所が急速にできている今、ベースもわかりやすく提示できたらよいと思う。
- ・ 施設の性質が異なるため一体化には無理があるように感じています。それを行っていくのに子ども達を中心に置かれているかどうかである。子どもの成長の援助が子どもの視点で考えられる制度が必要ではないでしょうか。
- ・ 幼稚園と保育園のそれぞれの良さを生かしながら一体化していくのは良いが、今まで行ってきたお互いの文化を尊重しながら一体化していくのは難しいと思う。
- ・ 大規模な園だけに施設の空間が少なく、これ以上人数を増して行うことが困難である。5階建てだけに子ども1人1人

の把握はしにくいが平屋の園であれば幼保連携はしていくことが望ましいと考える。

- ・財政難の上、少子化、待機児のことを考えるとなんとか対策を考えなければ・・・と思うがやはりさまざまな保護者、それぞれのニーズの多様化を考えると幼稚園と保育園の本来の役割は違うため簡単に幼保一体は賛成できない。現に子ども園の状況を聞くと子どもにとって保護者にとって本当に良いとは思えない。10年、20年先を考えても幼保一体は必要と思えない。
- ・私立園においては各園ごとの経営方針があり、公立のように一体化をすすめていくには難しい点が多いと感じています。
- ・情報の共有は大きな課題と感じる。目的、目標を明確に共有し保育を楽しみながら子ども達の育ちを支えていくことができればよいと考えています。
- ・子ども、保護者の為になる事業であると考えにくい。それぞれの特性を生かした方がより細かい配慮ができるのではないかと感じています。保育内容についてはお互いに学びあえることがたくさんあると考えます。幼稚園の見学に行った際にはずいぶん刺激になり、反省したことも多々あります。
- ・子どもの育ちを見ていく中で幼稚園・保育園だからではなく幼も保もともに・・・という考え方が根底にあるべきだと思います。ただし一步を踏み出すには行政の役割も大きく課題です。
- ・教育と養護、教育時間と生活時間の持ち方や保護者が園に求めることも多様化し、どう受け止めて実践していくのか課題は多いと思う。
- ・幼保で大切にしていることを互いに共通理解ができれば最高の保育ができると思う。しかし上記の13)の部分が一番難しいように思う。幼保の職員の連携がとれないと最悪になると思う。子どもをそのような環境に入れたくないので慎重に進めるべきだと思う。
- ・乳児の育ちは小人数が望ましい。施設的に広く、人数が多くなるのなら保育の工夫が必要となる。保護者が働いている・いない両方の立場の方が歩み寄るのはとても大きなエネルギーが必要。世の中の流れには逆行するかもしれませんがやはり幼保は一体化するのは困難であり、必要性を感じない。
- ・以前から長い期間に渡り、幼稚園と保育園の連携や一体化について話されてきました。子ども中心に考えると複雑なしくみは整理した方が子どもの成長発達や教育養護など深く考えられると思っています。難しい取り組みですが前に向けるようにしていきたい。
- ・幼稚園は子どもに対して職員の数が少ないし、保育園は1日の保育時間も長く、地域に向けてやっていることも多く正直大切なのはわかるが新規で開拓していくほどの余力はない。まずは近隣の小学校が中心となって幼保小連携として職員の意見交換の場となるなどのきっかけがあれば多少なりとも良いきっかけになるのではないかとと思う。
- ・保育園運営や考え方も様々なので保育指針も「教育」を全面に表現され保育園も学びについてかなり前向き。幼稚園との一体化については反対ではないが子どもの育ちについては教育・養護の視点を持って取り組むことが大切と考えている。
- ・保育園と幼稚園の連携は当園ではまだできていません。これから必要と感じています。
- ・働く保護者が増え、保育園への希望が高まっている。幼稚園でも一時帰りや夕方も預かり保育をしている所が増えてきていることを考えれば幼稚園・保育園という分け方は必要なくなるのではないかと感じている。また地域の子どもを育てるためには同じカリキュラムなどどんな場所でも同じ教育・福祉が受けられるべきだと考える。
- ・T-Tで保育を行うためには十分な話し合いの時間が必要。保育観が共有できないと保育がつかなくなる。
- ・とにかく待機児童解消を第一優先として考えた場合に人数の多い0.1.2歳児をスマート保育など一時的な施設を作るのではなく幼稚園で受け入れていけば良いのではないかとと思う。
- ・幼保連携や一体化によりもっと予算がつき、充実した中で行えばよいが現状のままの詰め込みでは保育低下になってしまうことを懸念している。やはりきちんと整備をしたり、ゆとりをもって保育ができる人員の確保などがないと、子どもにも負担がかかってしまうと心配しています。
- ・教育と福祉のちがいが分かられていた幼稚園と保育園の役割がある中、保育園は長時間の中に教育も取り入れ養護も同時に行っている。幼稚園の教育の良さをさらに取り入れることと幼稚園が保育園と同じような役割を担うことで問題は解決することが多いと感じる。
- ・同じ年齢の子どもたちが同じように保育・教育を受けることができるようになるべきと考えています。
- ・地域の小学校へ入学していくことを考えると子ども同士の交流は意味がある。また、保育園は小集団のため学校という大きな集団に入る前に多くの同年齢の子どもたちとの交流はあっても良い。私立幼稚園が多い中では特色あるカリキュラムがあり共有は難しいと感じる。
- ・日常の保育の中で気負わずに少しずつ交流していくとよいかと思う。例えばドッジボール大会やリレーなど。お互いの

園庭を行き来して交流すると垣根が低くなる。（以前在職していた園では近くの幼稚園と交流あり）顔見知りになったところで合同学習会などを行うなどして相互理解が深まった経験がある。

- ・以前勤務していた保育園では幼稚園と年に何回か交流をしていたが現職場では近くに幼稚園がないこともあり交流ができていない。同じ子どもを育てる施設として積極的に交流をしていきたいので子どもが歩いて行ける施設を探していければと思っている。
- ・幼保の相互理解は必要だが一体化はそもそもが不毛な議論。連携は一考の余地あり。
- ・子どもの居場所が親の事情に左右される日本の乳幼児教育・保育の現状がある。どんな子も通える園になればいいという思いがあるが、保育園のニーズが高くまた要支援家庭を支えるには保育園の枠組みが必要とも思える。また教育観・保育観の溝を埋められるのかとも思う。けれど結局は人と人のつながりが大切で地域で子どもをしっかりと見守れる連携は行っていきたいと考えています。
- ・幼保小の連携は地域の2校と行っている。小学校が主となっているのが実態。保育園は0歳から就学前まで保育しているので短時間がいても支障はない。
- ・保育園はすでに小さい子から就学前まで多くのお子さんを保育しています。幼稚園化する部分を吸収するのはそんなに難しいことではないと考えます。保育内容の中に幼児教育をどうとらえ、組み立てていけるかだと思います。
- ・幼保連携については職員にとっては業務量が増え、負担が大きいが1人1人の資質の向上につながると思う。
- ・連携はある程度あってもよいと思うが、一体化するためにはそれなりの施設、環境の整備が必要だと思う。